

実践者の言葉と事例から学ぶリレーセミナー！行政と民間が連携する“これからのまちづくり”

公民連携 2022 リレーセミナー

第3回

岡山県津山市
川口 義洋氏



東京都東村山市
杉山 健一氏



合同会社 RRP・東洋大学大学院客員教授
矢部 智仁氏



行政担当者が取り組む 公民連携

小規模連携と地域資源
(ヒト×コト×モノ×拠点)でまちを変える！

公民連携セミナー第3回
6.24 金

オンライン
開催！

15:00-17:00 講演会

会 場：オンライン Zoom 配信
(東村山市役所より配信)

参加方法：事前予約制・参加費無料

※お申込後にオンライン参加方法の詳細をお知らせします。

行政担当者として建築的な視点で都市経営課題の解決に携わる川口氏と民間事業提案制度など全国に先駆けて取り組む杉山氏をお迎えし、行政視点での公民連携の最前線を紐解きます。後半では公民連携に精通する矢部氏をファシリテーターとしたディスカッションを行います。



一般社団法人
木造施設協議会

[主催・お問い合わせ] 木造施設協議会事務局 053-484-4700 info@mokuzoushisetu.or.jp [後援] 株式会社 新建新聞社

6月開催のセミナー詳細内容は裏面にて
第3回の参加申込をWebで受付中！▶



木造施設協議会「公民連携」リレーセミナー 2022

[後援] 株式会社 新建新聞社

企画趣旨 小規模連携と地域資源でまちを変えよう！

木造施設協議会代表理事 / 相羽建設（株） 相羽健太郎

2022年を迎えるにあたり、木造施設協議会の各会員の報告からも木造施設や法人との連携事例は間違いなく増えている。

本協議会を設立時に掲げていた文教教育施設、医療施設・高齢者施設といった用途の建物に留まらず、地域の土産や法人の事務所施設、木造倉庫、その他にも多様なユーザーや用途の建物への関わりが見てとれる。また木造という分野の中でも在来木造、CLT や大断面集成材の利用、金物構法や大型パネル構法など各社各様で様々な取り組みがある。さらに木造だけでなく木質改修も含めて木を扱う地域工務店や事業者の関わりが増えていることは時代と仕事の大きな変化と言えるのではないだろうか。

一方で、多様な仕事を行うための中小事業者の資源（ヒト・カネ・モノ・情報 etc）には限りがあることも事実で、このあたりがボトルネックになっているケースも散見する。2021 年からのウッドショックなど外部環境の問題も重なり、内外ともに問題が発生し障害となる場面も多い状況だ。まさにこのような問題を解決すべく、木造施設協議会は発足し、存在をしており、小規模連携の必要性は更に高まっている。そして協議会内部の会員間の連携にとどまらず、外部事業者や行政、ユーザーなどとも連携・協働をしていくことが大きな伸び代ではないかと考える。

2022年は「連携・協働」を本協議会の大きなテーマと位置づけ、その実現に向けた企画と実行をしていく。その第1弾として「公民連携」を3回にわたるリレーセミナーで掘り下げていく。3回それぞれに工務店やタウンマネージャー、行政など多様な立場での実践や公民連携の事例を紹介し、触れることができる。協議会の会員各位、そして地域での連携に意欲を持つ方々のご参加と、そこから生まれる新しい協働や創発を期待している。

開催予告：6月24日（金）第3回 開催スケジュール | 参加無料・各回のみも参加可能

●第3回「行政担当者が取り組む公民連携」

日 時：6月24日（金）15:00-17:00 オンライン開催
参 加 申込は
こち
ら
会 場：オンライン Zoom 配信（東村山市より配信）
登 壇：川口 義洋氏 岡山県津山市
杉山 健一氏 東京都東村山市
矢部 智仁氏 合同会社 RRP・東洋大学大学院客員教授



人口減少や経済低迷、長引くコロナ禍で中心市街地の衰退や空き家問題をはじめとして、全国各地の行政は多くの課題に直面している。リレーセミナー第3回では、行政担当者として建築的な視点で都市経営課題の解決に携わる川口氏と民間事業提案制度など全国に先駆けて取り組む杉山氏をお迎えし、行政視点での公民連携の最前線を紐解いていく。さらに公民連携に精通する矢部氏をファシリテーターに迎えてディスカッションも行う。



岡山県津山市の一棟貸し町屋ホテル。岡山市が整備する宿泊施設を「コンセッション（公共施設等運営権）方式」によるPFIで民間事業者に運営権を設定。観光拠点となる施設を行政と事業者が連携して立ち上げた公民連携でも特徴的な事例。



公園などの価値が見直される中で、地域団体や近隣住民と工務店、行政が連携して水車苑の復活が実現。水車小屋の改修や地元有志の寄付による「思い出ベンチ」づくりプロジェクトも。2022年より民間事業提案制度が本格的にスタートする。

登壇者プロフィール

相羽 健太郎



一般社団法人木造施設協議会 代表理事、相羽建設株式会社 代表取締役。神奈川大学卒。一条工務店を経て1998年に相羽建設に入社。建築家の故・永田昌民氏や伊礼智氏、家具デザイナーの小泉誠氏との協働をはじめ、建築業界や行政、地域との価値観に基づくつながりの中で「創発」が生まれるプロジェクトを多数進めている。一般社団法人わざわ座理事。一般社団法人木造施設協議会代表理事。

川口 義洋



津山市財政部財産活用課 主幹。1971年岡山県生まれ。明治大学建築学科卒業。津山市役所入庁し16年間、建築監査と建築指導の業務を行う。2015年の津山市ファシリティマネジメント事業立ち上げ時に建築の専門家として財政課に移動し、それ以降、建築的な視点から都市経営課題の解決に取り組む。2019年には全国初の取組となる学校断熱ワークショップを企画、実践。

杉山 健一



東村山市経営政策部 公共施設マネジメント課 課長。東洋大学公民連携専攻12期生。固定資産台帳の整備、公共施設マネジメントに加え、国内初の公民連携プラットフォーム連動型民間事業提案制度に従事。2020年より東村山市のスマートシティ × 公民連携事業も推進している。

矢部 智仁



合同会社 RRP (RRP LLC) 代表社員。東洋大学大学院公民連携専攻客員教授。リクルート住宅総研所長、建設・不動産業向経営コンサルタント企業役員を経て現職。RRPは地域密着の建設・不動産業を元気に、業界・行政・地域をPPP的取組で繋ぎ地域を元気にする活動を行っている。

第1回の開催報告、Webでぜひご覧ください！

●「地域工務店の公民連携」2月開催終了

- ・タウンマネージャー 國廣純子氏より「公民連携」ガイド
- ・大野建設 大野哲也氏 「コロナ対応の応急仮設住宅の取り組み」
- ・エフ・ベース 丸山勲氏 「地域の空き家対策」
- ・相羽建設 遠藤誠 「東村山市との連携 | 公園管理 ParkPFI」

開催報告は
こち
ら



木造施設協議会

[お問い合わせ] 木造施設協議会事務局 053-484-4700 info@mokuzoushietsu.or.jp